

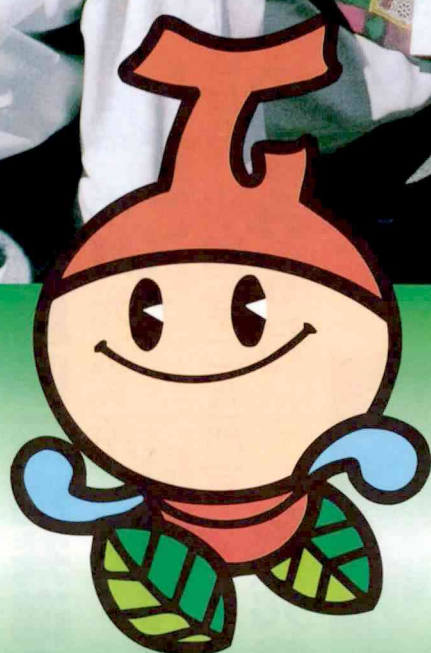


でんしろ

No 552

10月号

平成 11 年 10 月 14 日発行



有事に備えて!! 集団事故対策訓練実施

※有事（事変・事件・事故などのあること）

ぼく“でんしろ”です

田代町役場企画管財課編集

肝属郡田代町麓827番地1

集団事故対策訓練



つめの病院があれば説明して、保険証や必要なものを準備しておいて下さい。

救急医療にご理解とご協力をお願いいたします。

九月六日、役場前国道でマイクロボスと乗用車の衝突事故を想定して集団事故対策訓練を実施

九月九日は、救急の日です。救急医療及び救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深めるために設けられ、又、九月五日から十一日まで救急医療週間とされ、救急医療関係者の意識の高揚を図るために設けられています。

救急隊は、緊急の事故や病気が住民の大切な生命を守るため、いつでも出動が出来るような態勢をとっています。

しかし、最近軽いがや病気の場合も救急車を乱用する傾向があり、重症患者の緊急搬送業務に支障をきたしています。お互いに正しい救急車の利用に努めましょう。

一九九番への電話は手短かに要領よく、はっきりと「誰が」「どこで」「どんなふう」に」と通報して下さい。

救急車が来たら、分かりやすい場所に出て手をふるか、夜間の場合は懐中電灯などで合図して下さい。そして、けが人や病人の容態、またかかり

現在まで、役場窓口において、手作業により処理しておりました住民票及び国民健康保険証の交付が、パソコンにより交付できるようになり、事務の効率化及び住民の皆様の待ち時間の短縮等、より一層の住民サービスの向上につながるものと期待できます。



住民票交付を電算化 総合行政システム本稼働

この訓練は、町消防団をはじめ、大隅肝属地区消防組合、大根占警察署、肝属郡医師会、婦人会など多くの関係者が参加し、①通報②緊急連絡③救助・救出④車両火

災消化・延焼防止⑤応急処置⑥交通規制、二次災害防止等々多くの訓練を実施した。

災害・事故・有事の際の備え万全ですか？

電算稼働初日八月一日に民生課窓口において本稼働式が行われました。式では、前之園町長が「待望の電算導入で、より一層の住民サービスの向上に期待します。」とあいさつ。続いてテープカットを行い、さっそく町長が住民票の交付を申請して第一号の発行を行い、業務を開始しました。

このシステムは、県町村会が開発したもので今回の本稼働は、総合行政システムの第一段階でこれから各分野において導入が予定されており、様々な業務に対応できる全庁的な電算システムとして事務の効率化と住民サービスの向上が期待できます。

「農業の町」での 新しい農業のかたち創り



家族経営協定スポーツ交流大会

は、かねての運動不足がたたり3敗。みごと優勝したのは中学校2年生の光星君をリーダーとする池田製茶チーム。優勝商品の焼酎は全員でおいしく頂きました。一生分の汗かいたと懇親会でのビールのおいしかったこと!!

家族経営協定を結ぶこと

田代町団体3位 肝属郡秋季畜産共進会

家族経営協定が全国的に盛り上がりつつある中、田代町でも、協定締結認定農業者8家族、総勢43人が一同に集まり、ミニバレーによるスポーツ交流大会がなごやかな雰囲気の中、盛大に行われました。

コートには3歳のミニプレーヤーから70歳の熟年プレーヤーまで、ルールも楽しくをモットーに声援と笑い声が体育館いっぱいに広がり、白熱した？試合が行われました。

根占普及所長をリーダーとする、支援センターチーム

九月二十日、二十一日にかけて、第44回郡秋季畜産共進会が肝属中央畜産市場において開催されました。本町からは13頭が出品され、各区において健闘し団体でも昨年に続き、総合3位の好成績でした。中でも若雌区に出品した中野光次氏の「しずこ号」と成雌牛区に出品した小園幸二氏の「のぶみ6号」が県畜産共進会への出場権を獲得しました。郡畜産共進会の成績は次のとおりです。

- 一部 部門別成績**
- 山元 泉（猪鹿倉） 神高福 とみこ号 優秀賞
- 二部 一区**
- 中野光次（瀬戸口） 平茂勝 しずこ号 最優秀賞2席
- 折小野浩一（岩崎） 第20平茂 なつみ号 最優秀賞
- 三部 一区**
- 宮園敏和（中村） 平茂勝 ふくえ11号 最優秀賞7席
- 三部 二区**
- 尾長谷昌美（郷ノ原） 平茂勝 みつひめ22号最優秀賞1席
- 四部（育種高等群） 3頭一組**
- 上原茂樹（久木野） 最優秀5席 しげひめ号 第20平茂 第2しげひめ号忠福 さつき号 神高福

で家族全員が農業経営の発展方向や農家生活について話し合い、役割分担など家族全員が共通の認識をし、女性や後継者が自覚と責任と意欲を持って生き生きと働ける、そんな環境作りの一つとして、今回の交流会が21世紀にふさわしい農業経営と生活スタイルを目指す機会になつてほしい。

第48回 鹿児島県畜産共進会

若雌牛区出品 中野光次氏所有 **しずこ号** 最優秀賞

成雌牛区出品 小園幸二氏所有 **のぶみ6号** 優秀賞



中野光次氏所有「しずこ号」



小園幸二氏所有「のぶみ6号」

- 五部（父系群） 3頭一組 平茂勝**
- 麦生田次男（表木） ふくひめ11号 平原富三（鳥淵） ひまわり号
- 尾長谷弘美（郷ノ原） なつこ2号
- 六部（成雌牛区）**
- 小園幸二（上柴立） のぶみ6号 最優秀賞3席
- 元丸敏朗（猪鹿倉） としひめ2号 優秀賞
- 県共へ

十月六日、七日にかけて、第48回鹿児島県畜産共進会が薩摩郡宮之城町に於いて開催されました。

本町からは、肝属郡代表牛として、2頭が出品し、県内各地を代表する優良牛と熱戦を展開し好成績でした。

本県は、全国的にもレベルが高く、多くの畜産農家の方々がこの大会出場を目指して日々努力されています。

高齢化率 35.63% 高齢化社会の先進地における現状 75歳以上の高齢者556人（うち88歳以上は89人）



最高齢99歳 坂元マキさん

九月十四日、町内の八十八歳以上の高齢者宅を訪問し、長寿の御慶びをお祝い申し上げました。町では、七十五歳以上の高齢者男百七十九人、女三百七十七人、合計五百五十六人。全てに敬老祝い金を支給しております。本町最高長寿者は、中尾集落の坂元マキ（明治三十三年六月一日生）さんが、九十九歳です。尚、八十八歳以上の高齢者は、次のとおりです。（敬称略）

- 九十七歳 平岡 トキ（下）
- 宮原 キクノ（南松園）
- 九十六歳 橋口 イマ（橋ノ口）
- 鳥淵 廣（鳥淵）
- 池水 チヨケサ（南松園）

- 九十五歳 隈元 タカ（下）
- 山下 盛茂（東ノ原）
- 中園 クサ（南松園）
- 山口 フイ（南松園）
- 九十四歳 山野 三藏（中尾）
- 鳥淵 キヨ（鳥淵）
- 倉元 チヨ（南松園）
- 横山 チヨ（南松園）
- 九十三歳 隈元 ミチコ（下）
- 宮原 イトエ（西中郡）
- 木佐貫 叶治（表木）
- 町清 之進（盤山）
- 富尾 定次（上柴立）
- 猪鹿倉 キクノ（猪鹿倉）
- 長濱 ツ子（鶴園）
- 大山 モヨ（南松園）
- 松添 シモ（南松園）
- 九十二歳 小牧 サミ（馬場）
- 南園 秀吉（山下）
- 湯ノ谷 義雄（山下）
- 池田 フヂエ（内之牧）
- 猪鹿倉 フミコ（猪鹿倉）
- 松崎 トラギク（郷ノ原）
- 舞原 道（鶴園）
- 大柄根 盛吉（南松園）
- 九十一歳 荒木 ユキ（東中郡）
- 有里 ノキ（中村）
- 唐仁原 キヨ（表木）
- 池水 シツエ（瀬戸口）
- 寺平 ハツエ（鳥淵）
- 安楽 ツルノ（南松園）
- 上原 テイ（南松園）
- 牛牧 ハツエ（南松園）
- 窪 シツエ（南松園）
- 命 苦スエ（南松園）
- 故 柴立 貞義（南松園）
- 九十歳 山下 ハルエ（馬場）
- 油木田 清吉（長谷）
- 小園 義美（西中郡）
- 宮下 ミチエ（西中郡）
- 田尻 ツナ（新田）
- 平原 イネ（郷ノ原）
- 大園 ミツエ（鶴園）
- 水流 スナ（鶴園）
- 岩下 イトエ（南松園）
- 妹尾 ツル（南松園）
- 竹下 テル（南松園）
- 富尾 ツルエ（南松園）
- 宮原 ヒサ（南松園）

- 八十九歳 迫田 チヨ（西中郡）
- 木佐貫 サチエ（橋ノ口）
- 湯ノ谷 ミエ（山下）
- 新村 ツル（東大原）
- 中村 定吉（鶴園）
- 竹直 弘（盤山）
- 大竹野 信子（南松園）
- 柴立 ユサ（南松園）
- 袖山 常吉（南松園）
- 和田 ミキ（南松園）
- 八十八歳 西迫 トヨ（橋ノ口）
- 尾ノ後 シカ（表木）
- 小梅枝 チキエ（折小野）
- 川邊 ハツエ（西大原）
- 柳田 キミ（西大原）
- 永野 喜一郎（東大原）
- 坂口 クサ子（新田）
- 山下 フヂ（内之牧）
- 山方 邦（鶴園）
- 裾分 カメ（盤山）
- 永野 アキ（平石）
- 前田 富士子（平石）
- 富尾 フヂエ（上柴立）
- 川前 アキコ（池野）
- 迫尾 森竹（池野）
- 松尾 クマゲサ（池野）
- 山下 美善（早瀬）
- 故水流 一藏（鶴園）
- 上ノ原 ミツエ（南松園）
- 茅野 竹夫（南松園）
- 椎木 イク（南松園）
- 清水 ヨシ（南松園）

近川 ハルコ（南松園）
原田 ナミコ（南松園）

少子高齢化社会の状況にある今日、多くの社会的変化に伴い高齢者に対する国民の意識も変わって来ているようです。実施に近い「介護保険制度」21世紀半ばには、3人に1人が高齢者という時代を迎えようとしています。

①介護する人も高齢化し、
②働きに出る女性が増えた。
③家族だけで介護は難しい。
などの理由で、「介護は社会全体で支えよう」という意識を植え付けようとしている。だが、常識的に物を考えてみると、高齢者になる過程に於いて、老後の備えを怠り、自分を守ってくれるであろう環境を整えなかったことも問題の一つである。（備えにお金を使わず、贅沢にくらししてきたという点もあり）今さらという気にもなるが、「家族だけで介護が難しい」という理由には疑問を感じます。

私達の生活の基盤は「家族」である。どんなに貧しい住らしをしようと、贅沢をしようと、自分の家族内でやっている事であるので「自由」なのです。「家族を守るの

は、家族の一員だけなので「は、家族の一員だけなので」

だから、「家族だけで介護は難しい」という理由は、無責任だと思っています。

自分の家族で介護出来ない無責任を社会全体でと投げ掛けても、無責任のなすり合いではないでしょうか。

この敬老の日を機会に町民の皆さんも「高齢化社会・敬老」について考える事も大切で。

現在、「介護保険制度」についての原案づくりがなされています。他人事と思わず、ご自分で理解してみて下さい。

最後に、「敬老の日」制定の由来を示します。

九月十五日を「敬老の日」としたのは、昭和三十八年制定の老人福祉法にこの日が「老人の日」として規定されていることによります。

新たに国民の祝日とするにあたり、老人の長寿を祝うとともに、多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛するという意味が強調されています。老人福祉についての理解を深め、その知識と経験を社会に役立てることに努めましょう。

道路交通法が改正されます。

平成十一年十一月一日施行 平成十二年四月一日施行



携帯電話等の走行中の使用等が規制されました。

幼児用補助装置の（チャイルドシート）使用が義務付けられました。

★6歳未満の幼児を車に乗車させて運転する場合は、幼児用補助装置（チャイルドシート）を使用しなければいけません。

【違反点数】1点

★ただし、次のような場合には、使用が免除されます。

①その構造上幼児用補助装置を固定して用いることができないう座席において幼児を乗車させるとき。

②座席に幼児用補助装置を人数分固定するに足りる余地がないとき（例えば、多人数の幼児を乗車させるため、全員の幼児用補助装置を取り付けるスペースがないときは、取付け可能な分だけ取り付ければよいものとします。）

③負傷又は障害のため幼児用補助装置を使用させることが療養上又は健康保持上適当でない幼児を乗車させるとき。

④著しく肥満していることその他の身体の状態により、

★右記により、道路交通の危険を生じさせた者は罰せられます。

【違反点数】2点

【反則金】

大型車 二、〇〇〇円
普通車 九、〇〇〇円
二輪車 七、〇〇〇円
原付車 六、〇〇〇円

一定規模以上の土地取引の場合には、国土利用計画法に基づき届け出が必要で。

届出は、契約（予約を含む）を締結した日から試算して2週間以内に、土地の所在する市役所・町役場の国土利用計画法担当窓口へ届け出下さい。

●届出者

土地の取得者（買い主）

●届出の必要な土地の取引

ア、市街化区域

二〇〇〇㎡以上

イ、アを除く都市計画区域

五〇〇〇㎡以上

ウ、都市計画区域以外の区域

一〇、〇〇〇㎡以上

●届出をしないと

届出をしなかったり、偽りの届出をすると、六ヶ月以下の懲役又は百万円以下の罰金に処せられることがあります。

●問い合わせ先

県庁企画調整課土地対策室

〇九九二八六二二一一

10月は「土地月間」です

平成十一年十一月九日（火）～十一月十五日（月）

【統一標語】

あぶないよ、ひとりぼっちにしたその火

適切な幼児用補助装置を使用させることができない幼児を乗車させるとき。

⑤運転者以外の者が授乳その他の日常生活上の世話を行う場合であって、当該乳児に幼児用補助装置を使用させたままでは当該世話を行うことができないとき。

⑥乗合バス又はタクシーの運転者が、旅客である幼児を乗車させるとき。

⑦過疎バスの運転者が、運送のため幼児を乗車させるとき。

⑧医療機関へ緊急に搬送する必要がある幼児、迷い子であって、他の場所へ緊急に搬送する必要がある幼児その他の生命又は身体保護のため緊急に搬送する必要がある幼児を当該搬送のために乗車させるとき。





願い事が叶います様に。(役場にて)



親子で作った“車”を走らせて！

雨の多い夏でしたが子どもたちは今年も元気に、楽しくいろんな行事や活動に頑張っていました。またひとまわり成長した姿を喜んで下さい。
○保護者参観

川田代幼稚園

学校だより



プール開きの日“かわいい水着姿で”



生演奏に子どもたちも会場もうっとりでした



南松園より七夕飾りを頂きました



はじめてお兄さんたちも体験に来て…(嬉)



クラシックの音の中おいしいのを一房



大学生のお兄さん、お姉さんとゲーム遊び

審査結果	
※表彰は町生きがい健康づくり大会で行います。	
学校の部	
最優秀賞	田代小学校
優秀賞	大原小学校
奨励賞	大原中学校
	田代中学校
集落の部	
最優秀賞	鶴園小組合
優秀賞	橋ノ口小組合
奨励賞	西中郡小組合
	郷ノ原小組合

町花だんコンクール

本町では、「町に花、心に夢を咲かせよう」をスローガンのもとに、「一家族一プランター事業」を進めています。その成果を試す町花だんコンクールが、九月二十二日に行われました。

今年度は、学校の部に町内4小中学校、集落の部に7つの小組合が参加しました。今年は雨が非常に多く管理が難しかった中で、いずれも工夫をこらした花づくりを進められていました。

来年はさらに多くの小組合に参加いただき、町をあげての花いっぱい運動を展開したいものです。



最優秀賞になった田代小学校



最優秀賞になった鶴園小組合とその周辺の道路



シリーズ たしろで生きる

上部地区で、プロイラー経営に取り組み、地域の頼りになる、中心的な認定農業者として、また営農組合の機械部長として、地域全体の生産性向上のため、仲間と共に元気いっぱい活動されています。営農組合で得たことは、飲ん方!!「稽古がいきました」!!諸先輩方日々のお導きにより、顔を真っ赤にしながらではありますが、人並みに飲めますよ〜。

趣味の狩りも始まります。飲ん方に拍車がかかるかも…子供達もすこぶる元気!! 特に末っ子の一真君は別府家の宝物!!なにせやっこさ出てきた男の子!! がんばりました!! 妻のフク子さんは今年からパソコンによる複式簿記帳を始められ、まだまだ軽やかとはいかない指先でカチャカチャと苦難の日々…おしゃべりしながら、なんとかなりそうって感じで、楽しんでいらっやいます。



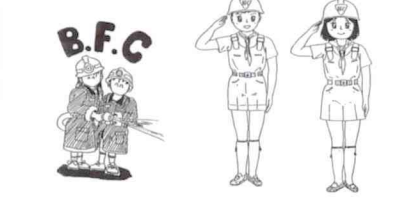
家族構成

世帯主	別府 眞 (38歳)
妻	フク子 (39歳)
長女	梓 (12歳)
二女	しのぶ (11歳)
三女	唯 (8歳)
長男	一真 (6歳)
●経営	プロイラー経営

総務庁では、来る10月17日(日)から10月23日(土)までの1週間を「行政相談週間」と定め、全国的に各種行事を実施します。

この週間行事の一環として、本町においては、**行政相談委員の上久保三郎さん**が、次の日程で相談所を開設されます。

行政相談所の開設



消防クラブが発足して20年がたちました。発足20年を記念し記念事業「消防フェスタ」を開催します。住民の皆様も多数お集まり下さい。

1 事業名 防火フェスタ
2 日 時 平成11年10月23日(土) 午前9時から午後1時まで
3 場 所 串良平和アリーナ(串良町有里)
4 参加者 幼年・少年消防クラブ員、婦人消防クラブ員、29消防クラブ(831名)
5 その他 消防クラブ員以外の子供さんや保護者の方々を対象とした、消火器の当たるお楽しみ抽選会や、各種消防車両の展示、煙体験装置による煙の恐さを体験するコーナー等色々な催しがあります。

※保育園や幼稚園の子供たちの一生懸命な規律訓練の発表や、おもしろいゲーム等に皆様方の応援をよろしくお願い致します。

消防フェスタに全員集合



先生 豊永総夫
とよなが みちお
講師プロフィール

- 生年月日 昭和15年2月11日
- 保育所「のぞみ愛児園」理事長
- NHK福岡文化センター講師
- 町おこしグループ「そったく塾」顧問

田代町振興大会講師紹介 (11月3日開催)

薬草探訪 ふれあい学級

九月のふれあい学級は、薬草教室でした。講師に吾平町薬草講座講師の朝倉チカ子さんをお招きし、薬草の名前や効能等について学習しました。朝倉さんは、身近な薬草を提示しながら薬草が健康の秘訣であることを分かりやすく話されました。

ウィークエンドサークル活動

平成十一年度は、大原小みどりの少年団を中心としてウィークエンドサークル活動の開講式を九月十一日に行いました。今回は、講師に木場忠さんをお招きし、自然について学習しました。木場さんは、田代町の文化財についてくわしく話されました。近津神社の清掃や校区内の空き缶拾いも行いました。

第20回町民文化祭、展示作品募集

十一月三日（水）に行われる、町民文化祭の展示作品を募集します。習字、絵画、手芸作品、観葉植物など、多数の応募をお待ちしています。出品される方は、十月十五日（金）までに教育委員会へお知らせください。

十一年ぶりの熊毛県民体育大会

九月十八日～十九日に、第53回県民体育大会が熊毛地区を会場に開催されました。本町からも9競技に10名の皆さんが選手・監督として出場され肝属地区総合五位入賞に貢献されました。



第53回県民体育大会 入場行進の様子



陸上競技場

平成11年度 小組合対抗ソフトボール大会



Aクラス優勝 麓住宅のみなさん



Aクラス準優勝 郷ノ原のみなさん

九月十二日、小組合対抗ソフトボール大会が開催されました。今年はAクラスに13チーム、Bクラスに15チームが出場しました。誰もが気軽に取り組みめるスローピッチルールで、熱戦が繰り広げられた結果、Aクラスは麓住宅が二連覇、Bクラスは昇陽団地が優勝しました。



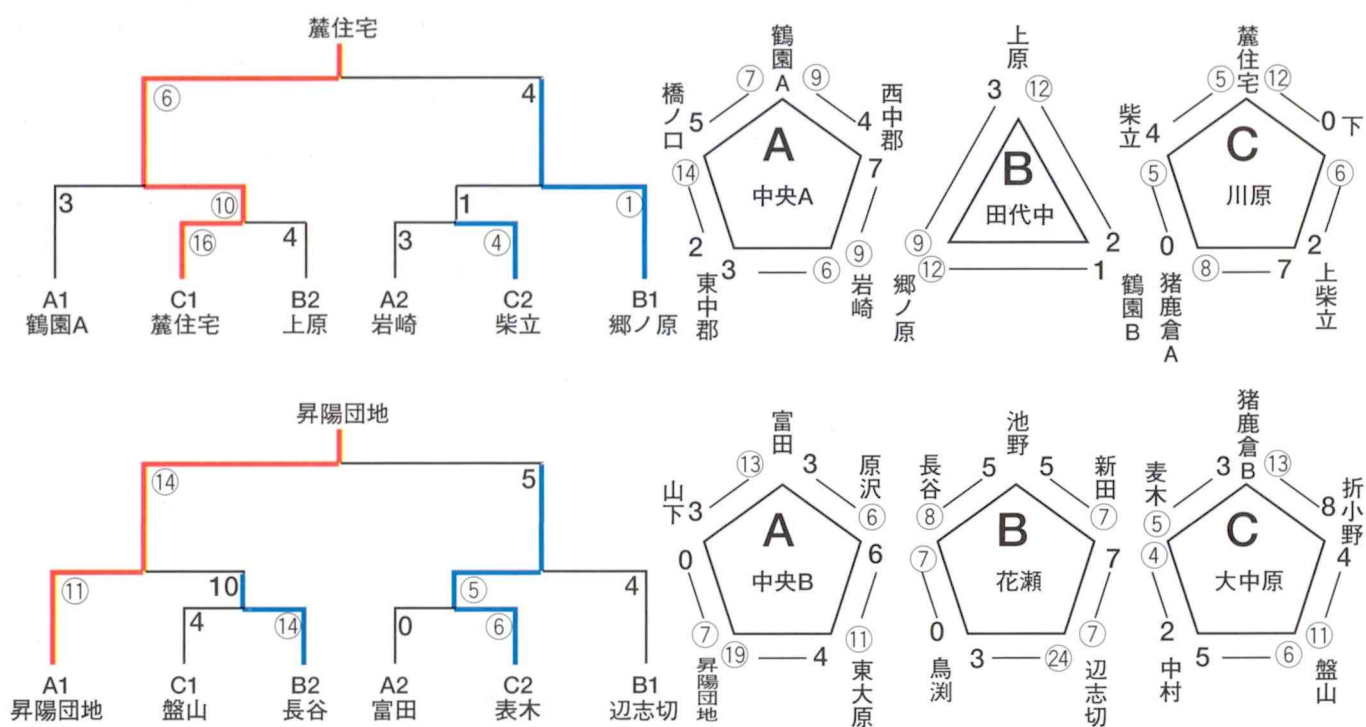
Bクラス優勝 昇陽団地のみなさん



Bクラス準優勝 表木のみなさん

Aクラス	
優勝	麓住宅
準優勝	郷ノ原
第3位	鶴園

Bクラス	
優勝	昇陽団地
準優勝	表木
第3位	長辺

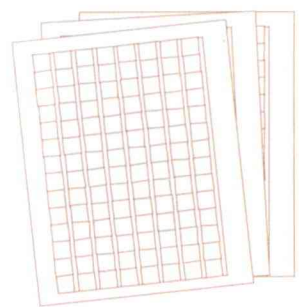


町作文審査会

九月十六日、町内各学校の国語担当の先生方を審査員に作文審査会が行われました。審査に当たった先生方から、夏休みの体験等を題材に、自分の思いをのびのびと表現した作品が目立ったとの審査評がありました。

その結果、次の9名の作品が特選に選ばれ、肝属地区の審査に出品されました。

平石 雄地(田代小1年)	小鷹 梨奈(田代小2年)	山元 大志(大原小3年)	中野 智也(大原小4年)	出水 澤 仁(田代小5年)	牧原 弘弥(田代小6年)	吉田 幸多郎(大原中1年)	中野 佳美(大原中2年)	小路 愛美(田代中3年)
--------------	--------------	--------------	--------------	---------------	--------------	---------------	--------------	--------------



町理科研究記録審査会



町理科研究記録

九月十四日、子供たちが夏休みに取り組んだ理科研究記録の審査会が行われました。今年は、小中学校合わせて65点の応募があり、その中から優れた次の7名の作品を地区の審査会に出品しました。

田代小学校	5年 浜畑 圭佑
大原小学校	6年 水流 大作
田代中学校	4年 中野 智也
大原中学校	1年 篠原 麻紀
大原中学校	2年 新村ありさ
大原中学校	2年 中野 佳美

差別のない明るい社会を目指して (1)

同和問題はあなたの力で解決できる。

同和問題というのは、江戸時代に政治的につくられた身分制度による差別政策の影響が、今日まで生き続け、「同和地区に生まれ育った」というただそれだけの理由で、就職や結婚、日常生活の中などで、不当な扱いや中傷を受けるなど、今なおいわれない差別が行われているという、重大な社会問題です。

我が国の憲法に保障されている基本的人権に照らし、この差別がいかに不合理なものであり、一日も早く解決しなければならぬ問題であるかを、私たち一人、一人が正しく理解し、認識を深め、みんなの力で差別のない明るい社会を築いていく努力が必要です。



戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

よろしくお願いします。



4月から、役場企画管財課で、嘱託登記職員としての仕事をいただいています。境界立合いや、名義変更等の業務で、町民の皆さんと接する機会が多くなると思いますのでよろしくお願いします。

- 下之蘭 孝 一 (大根占町)
※前職 大根占土木事務所勤務
- 六反田 和 子 (橋ノ口)

10月の交通事故相談日

10月26日 (火曜日)

朝9時30分～昼3時30分

大根占町役場

電話2-0511

松坂スマ様

田代町社会福祉協議会
「篤志寄附金」

環境問題講演会
(廃棄物の現状と今後)

環境問題についてさまざまな場で論じられている今日、私たちが生きていくことは何らかの資源を消費することであり、そこにゴミという廃棄物が生じるのが必然であるという事、限りある資源を大切にし、廃棄物の適正処理等について、皆様方にご理解して頂きたく講演会を開催します。

開催日 10月23日(土) 午後2時
場 所 高山町文化センター
※入場無料。
多数ご来場下さい。

月 日	当 番 医	TEL
10月17日	じょうさいクリニック	4-2977
10月24日	浜畑クリニック	5-2575
10月31日	肝属郡医師会立病院	2-3111
11月3日	二川内科胃腸科	2-2033
11月7日	津 崎 医 院	4-2153

休日在宅当番医

住民基本台帳		増		減		前月 対比
		出生	転入	死亡	転出	
男	1,738	1	4	1	1	3
女	1,880	2	5	3	6	△2
計	3,618	3	9	4	7	1
世帯数	1,465					△1

人口のつづき

平成11年9月1日現在

編集途中下車 22

子供たちの教育について考えてみましょう。

二〇〇二年から実施される完全週休二日制に伴い子供たちの学ぶ時間が縮小されます。又、学習内容も「ゆとり」という抽象的な言葉で三割も削減されるそうです。

ごく最近までの詰込主義による悪い受験戦争システム(今も変わっていないが、子供の数が減少した。)が、勉強する「学ば」(イコール)「悪」というイメージを植え付けているようです。

学び、体験することにより人間形成していく子供の過程で、学ぶ量を縮小するのはいかなるものか?

又、その成長過程での「しつけ」を「勉強のせい」にして怠ると、常識を身に付けないまま社会へ出るあなたの子供に必ずマイナスになるでしょう。

「自由に伸び伸び育てる」の意味が「放任」になっ

昔から「子供は親の鏡。親を見て育つ」と言われていま

子供を育てるのは難しいと聞きますが、手を抜かずに「しつけ」てください。「子供の事は、勉強(学ば)する事」(好)